

地域の医療介護福祉、 こどもに関わる専門職の連携モデル -地域プラットフォーム活用のご紹介-

株式会社インターネットイニシアティブ
公共システム事業部
ヘルスケア事業推進部

名古屋大学医学部附属病院
先端医療開発部
先端医療・臨床研究支援センター
センター長付 研究員

2023/10/02

喜多剛志

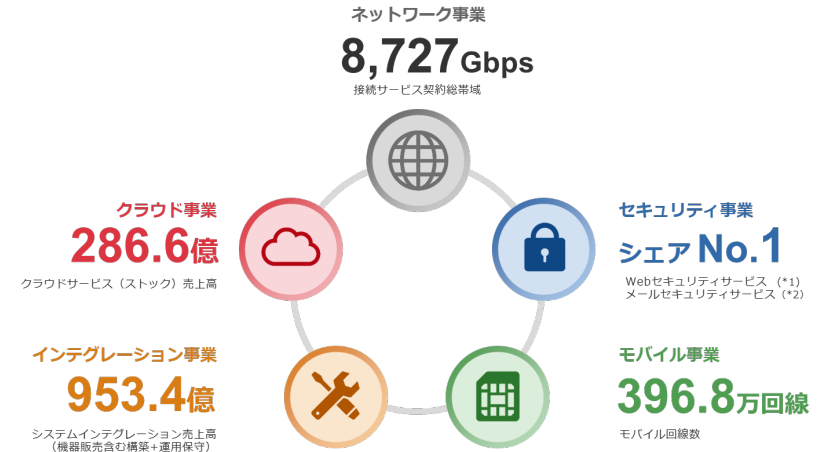


IIJのご紹介

社名	株式会社インターネットイニシアティブ (Internet Initiative Japan Inc.)
設立年月日	1992年(平成4年)12月3日
従業員数	連結 4,451人 単体 2,475人
所在地	東京都千代田区富士見2-10-2 飯田橋グラン・ブルーム 〒102-0071
事業所	関西支社、名古屋支社、九州支社、札幌支店 東北支店、横浜支店、北信越支店、中四国支店 豊田営業所、新潟営業所、沖縄営業所
資本金	23,023百万円
主要取引銀行	三井住友銀行 みずほ銀行 三菱UFJ銀行 三菱UFJ信託銀行
主要株主	日本電信電話株式会社 エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 鈴木幸一
公開市場	東京証券取引所第一部 (2006年12月上場、証券コード: 3774)

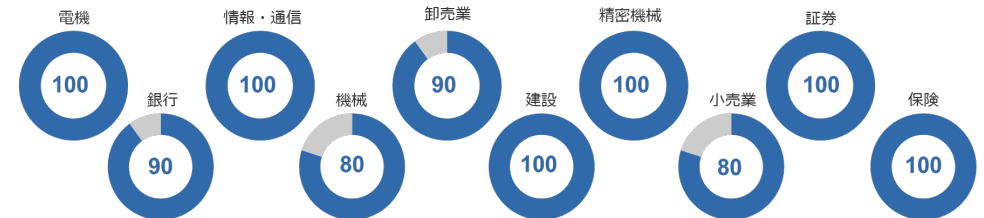
※2023年3月31日現在

事業領域



お客様

業界TOP10企業への浸透率(%)



各種認定



ISMAP
(政府情報システムのための
セキュリティ評価制度)

HIPAA
(Health Insurance
Portability and
Accountability Act of 1996)

地域の専門職（人）の課題

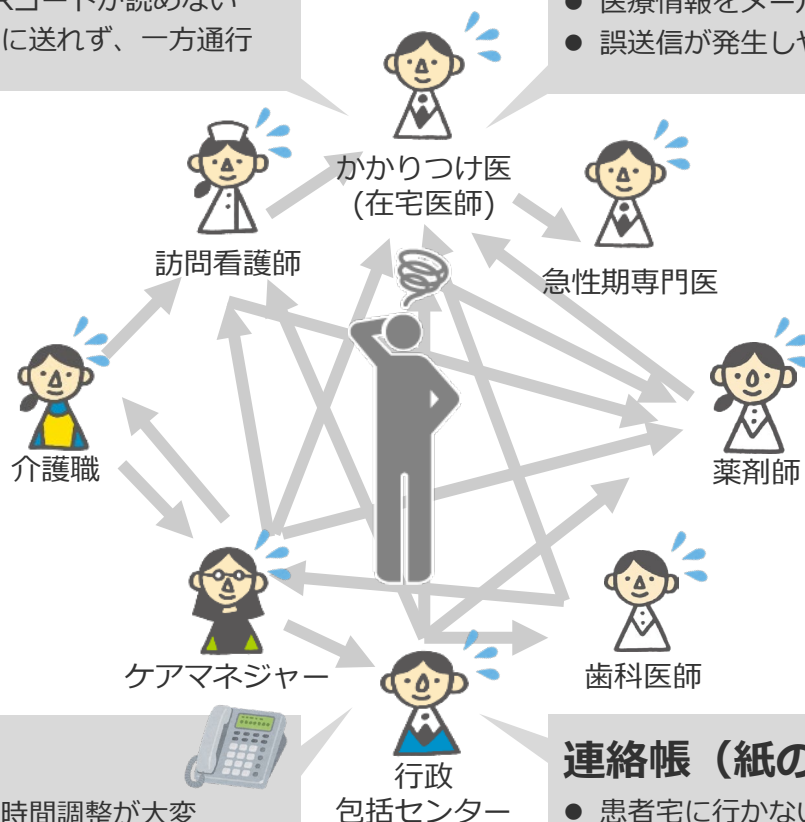
FAX

- 画質が荒く、QRコードが読めない
- 複数施設に一度に送れず、一方通行



電子メール/一般ツール

- 医療情報をメールで送るのはNG
- 誤送信が発生しやすく危険



電話

- 忙しい専門職の時間調整が大変
- 一度に1人としか話せない。何度も書ける必要がある



連絡帳（紙のノート）

- 患者宅に行かないと内容を見れない
- 手書きになるので伝えたい内容に限度がある



課題

多職種・多機関の間のやりとりが煩雑

紙/FAXをやめたい
情報の場所がわからない。

機微な情報（患者情報）も安心してやりとりしたい

共有したい情報は日々増えているが連携が大変で、品質を上げられない

人が繋がると情報の流れが出来る

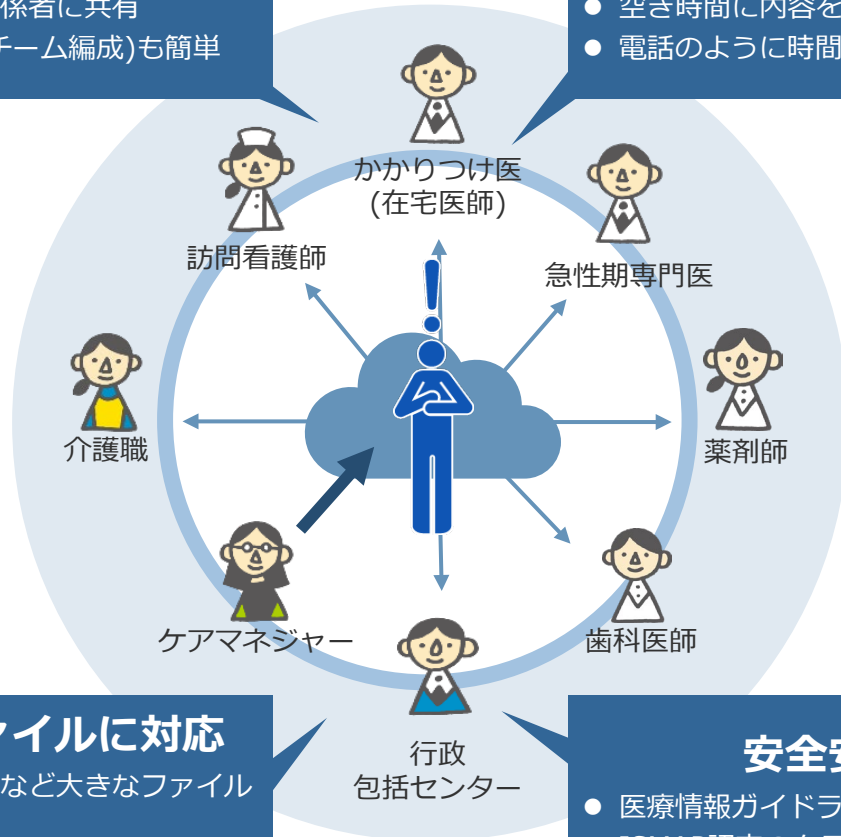
効果

情報共有が簡単

- 一度の操作で関係者に共有
- 宛先設定(支援チーム編成)も簡単

チャット/掲示板

- 空き時間に内容を見ればOK
- 電話のように時間を拘束されません。



大きなファイルに対応

- 写真や医療情報など大きなファイルにも対応
- 絞り込みやファイルビューで簡単検索

安全安心

- 医療情報ガイドラインに対応
- ISMAP認定のクラウド上で提供

地域の専門職をつなぐ
(人的資源・共助の活用)

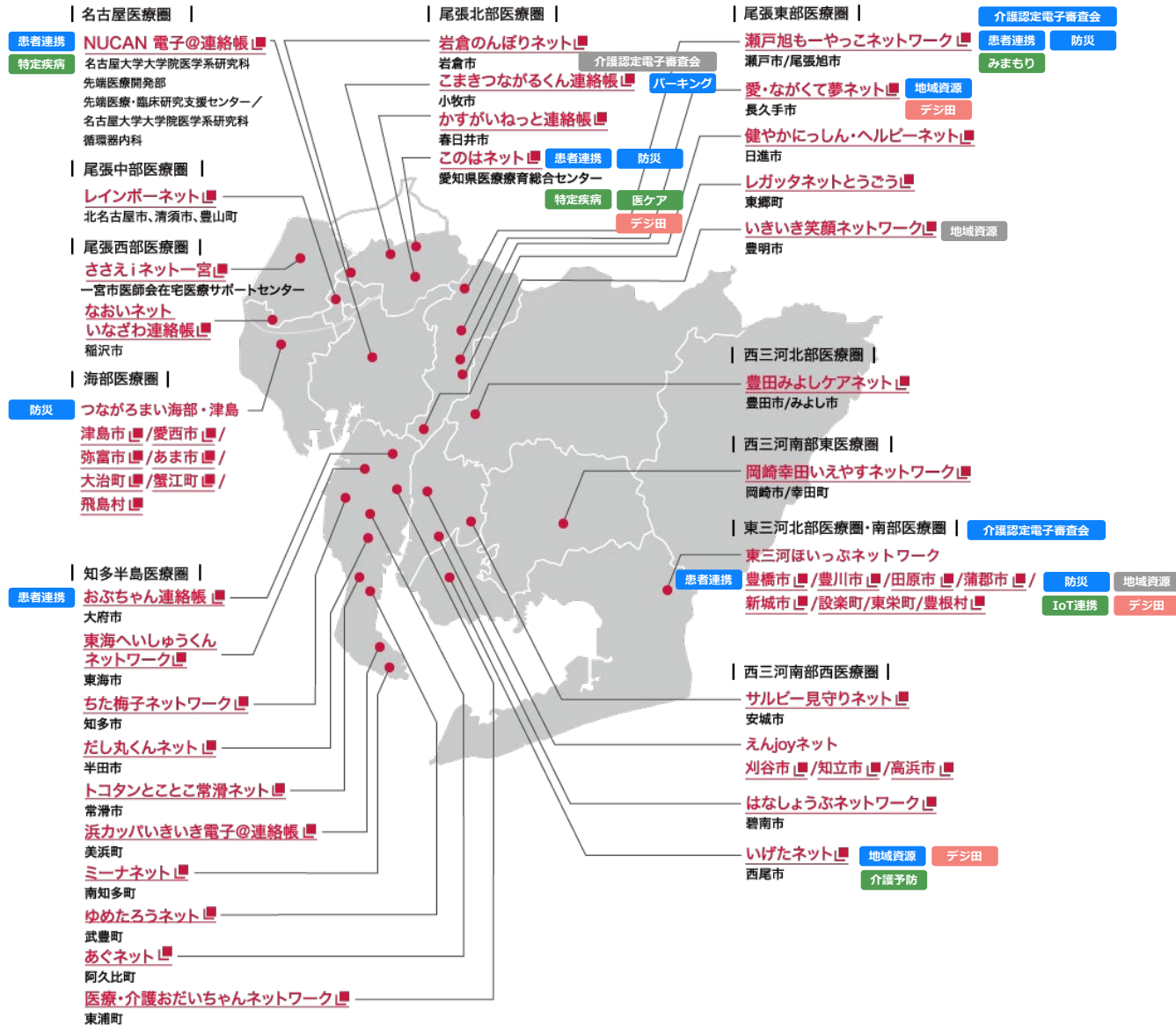
スピード
コミュニケーションの効率化

プラットフォーム型
部門/機関横断の課題に対応

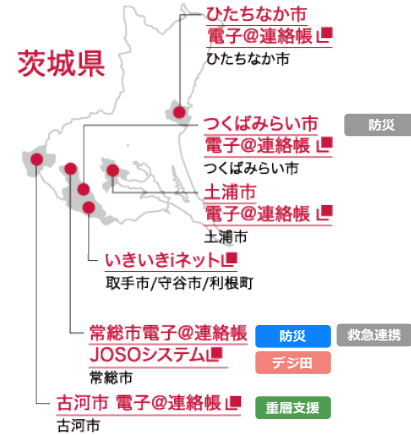
ペーパーレス
負担軽減/見える化

実績 自治体・地域医療介護向け (72行政)

愛知県



茨城県



神奈川県



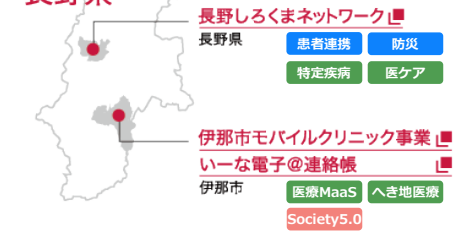
三重県



東京都



長野県

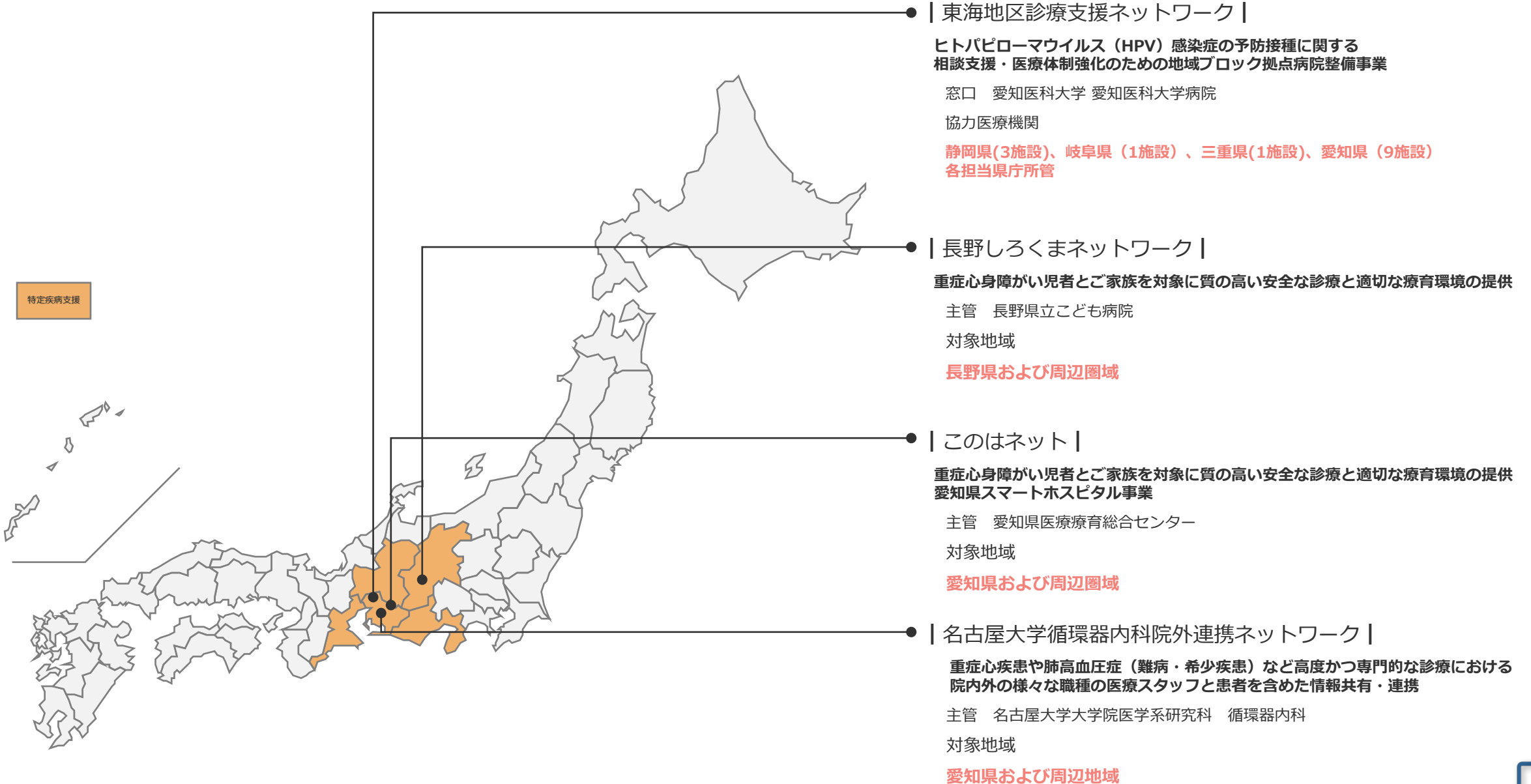


和歌山県



- オプション 利用オプション
- 事業テーマ 活用事業・テーマ
- 交付金 交付金採用事例

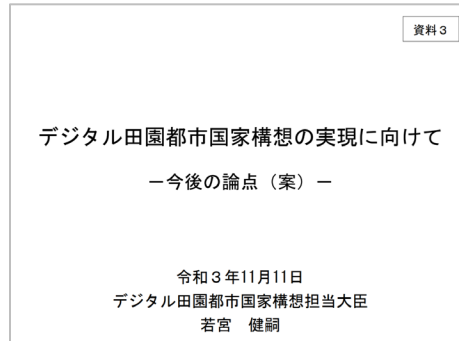
実績 特定疾病向け



デジタル田園都市国家構想のモデル事業

デジタル田園都市国家構想実現会議（第1回）

✓ 若宮担当大臣提出資料に、電子@連絡帳を含む長野県伊那市の取り組みが掲載



(参考3) デジタル化による地域課題解決のモデル事例 (医療の充実)

長野県伊那市の例

オンライン診療・服薬指導、医療×MaaS

- 中山間地の患者は、病院への移動や待ち時間が負担
- 医療機関のリソースの問題から、ニーズに即した往診が困難
- 患者の移動負担軽減、待ち時間解消
- 医師の往診回数縮減 (医師負担の軽減)
- 医療経営効率化・利便性向上

- ・ 医療機器を装備した移動診察車に看護師が乗車し、テレビ電話により医師が遠隔地から患者を診察。
- ・ 配車プラットフォームにより、患者と医師が合意したオンライン診療のスケジュールに応じ、効率的なルートで患者宅を巡回。

※ オンライン服薬指導等については、改正薬機法の施行等を踏まえ、実証詳細を検討

デジタル田園都市国家構想実現会議（第1回）議事次第
令和3年11月11日（木）デジタル田園都市国家構想 若宮 健嗣 担当大臣資料 より
https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/digital_denen/dai1/siryou3.pdf

多職種連携情報システム = IJ電子@連絡帳サービス
2021/11/1より正式事業（いな電子@連絡帳）として開始

MaaS連携事例 長野県伊那市（いーな電子@連絡帳）

2019年12月

長野県伊那市、及び医師会、伊那中央病院は全国初の移動診療車両（遠隔診療）の実証実験事業を、医療機器大手の株式会社フィリップス・ジャパン、MONET Technologies株式会社（※）と共同で実施。移動診療車両の予約依頼や往診の調整を行うために多職種連携ネットワークを構築運営するため電子@連絡帳を導入。

2021年11月

「いーな電子@連絡帳」を正式事業として開始

※トヨタ自動車、ソフトバンク、本田技研、マツダ等、自動車メーカ連合が設立した、自動運転や次世代交通手段を、研究、社会実装するための企業です。<https://www.monet-technologies.com/>
 出典：フィリップスジャパン 公式プレスリリース
<https://www.philips.co.jp/a-w/about/news/archive/standard/about/news/press/2019/20191126-pr-philips-healthcare-mobility-partnership-with-monet-ina-city.html>

長野県伊那市
モバイルクリニック事業

モバイルクリニック事業とは

オンライン診療の為に専用車両を開発

伊那市は、2019年4月、トヨタ・モビリティ基金の助成を受け、MONET Technologies株式会社、株式会社フィリップス・ジャパンなどの協力のもと、オンライン診療の為に専用車両「INA Health Mobility」を開発し、2021年3月まで、実証実験を実施しました。2021年4月より、地方創生推進交付金Society5.0タイプなどの補助を受け、新たに「モバイルクリニック事業」として本格運用を開始いたしました。

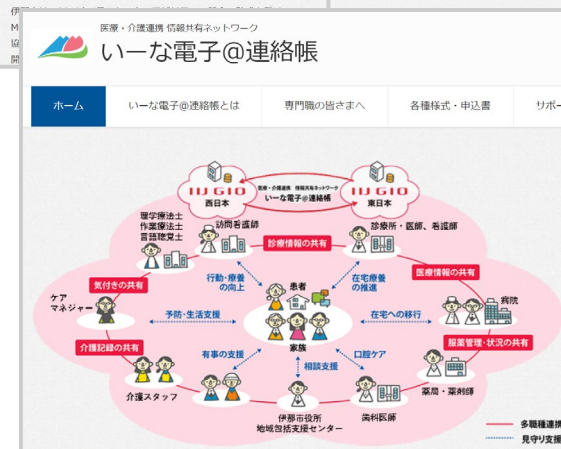
伊那市が推進するモバイルクリニック事業とは

モバイルクリニック事業とは、オンライン診療のための専用車両「INA Health Mobility」が、看護士と一緒に患者の自宅を訪問し、車内でビデオ通話を使用したオンライン診療を行う新しい医療提供の形態です。

オンライン診療の為に専用車両を開発

モバイルクリニック事業によるオンライン診療は、通院が困難な患者に対して、手軽にオンライン診療を提供いたします。自宅付近に車両が出勤後、回線している看護師によって、オンライン診療の実施を支援いたします。

対象患者：伊那市にお住まいで慢性疾患をお持ちの方
 参加医療機関（2021年10月現在）



デジタル田園都市国家構想推進交付金 TYPE1の採択結果

✓ 令和3年度補正予算 デジタル田園都市国家構想推進交付金（デジタル実装タイプTYPE1及び地方創生テレワークタイプ）の交付対象事業の決定について（令和4年3月18日）より

https://www.chisou.go.jp/sousei/about/mirai/pdf/denenkouhukin_saitaku_type1_telework_r3.pdf

■TYPE1「IIJ電子@連絡帳」を活用した採択事業

● 愛知県（愛知県医療療育総合センター）

愛知県	スマートホスピタル推進事業
-----	---------------

IIJ「電子@連絡帳」サービス
医療的ケア児支援ネットワーク

● 長久手市

愛知県長久手市	共助型マッチングシステム
愛知県長久手市	社会資源のみえる化事業

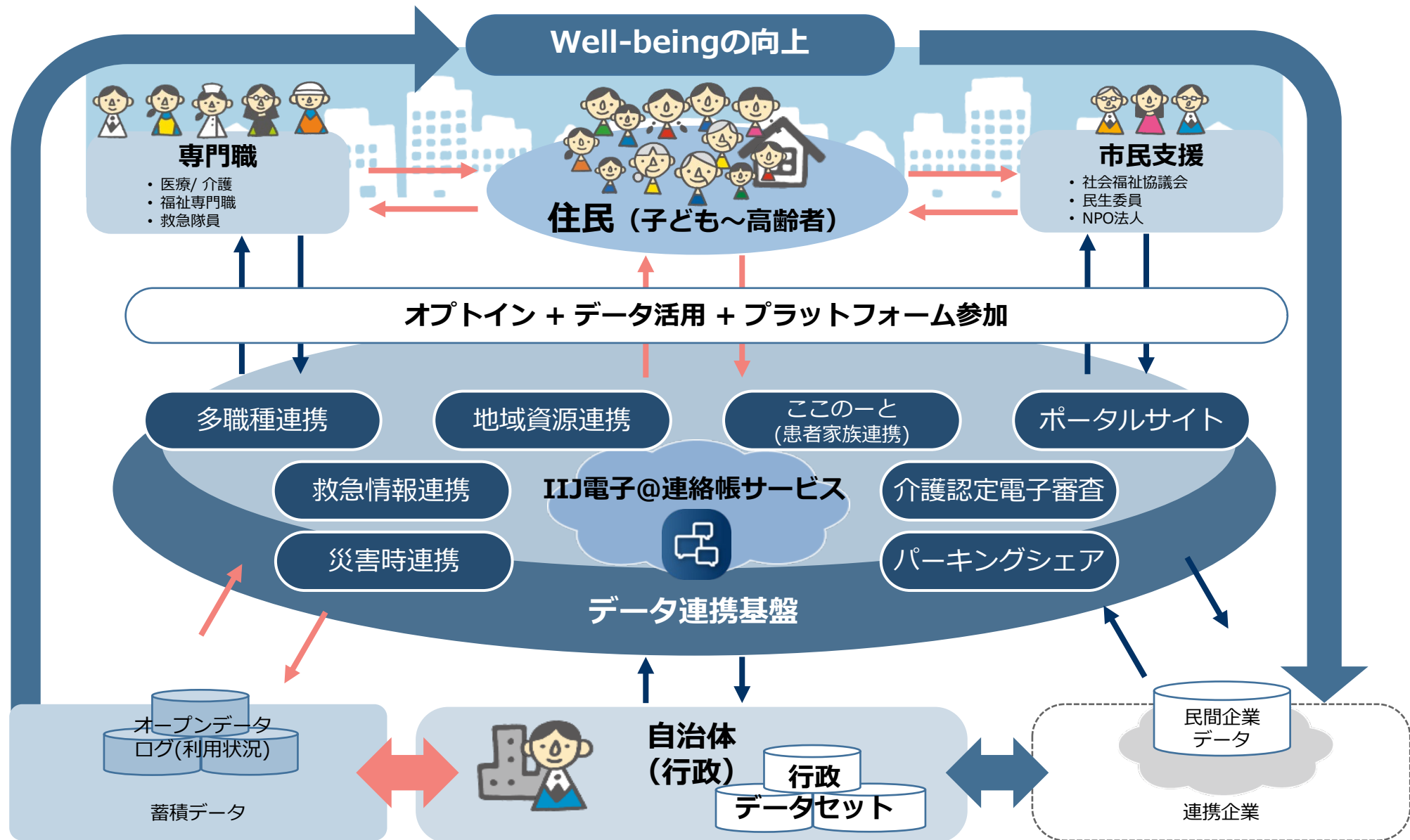
IIJ「電子@連絡帳」サービス
地域資源オプション

● 蒲郡市

愛知県蒲郡市	コミュニケーションロボットを活用した高齢者の見守りと災害時安否確認情報の電子@連絡帳への連携
--------	--

IIJ「電子@連絡帳」サービス
要援護者オプション
+
中部電力/ネコリコ「見守りセンサー」

データ連携とWell-being向上サイクルの実現





日本のインターネットは1992年、IIJとともにはじまりました。以来、IIJグループはネットワーク社会の基盤をつくり、技術力でその発展を支えてきました。インターネットの未来を想い、新たなイノベーションに挑戦し続けていく。それは、つねに先駆者としてインターネットの可能性を切り拓いてきたIIJの、これからも変わることのない姿勢です。IIJの真ん中のIはイニシアティブ
————— IIJはいつもはじまりであり、未来です。

本書には、株式会社インターネットイニシアティブに権利の帰属する秘密情報が含まれています。本書の著作権は、当社に帰属し、日本の著作権法及び国際条約により保護されており、著作権者の事前の書面による許諾がなければ、複製・翻案・公衆送信等できません。本書に掲載されている商品名、会社名等は各会社の商号、商標または登録商標です。文中では™、®マークは表示していません。本サービスの仕様、及び本書に記載されている事柄は、将来予告なしに変更することがあります。